

株式会社ジェイコムイースト 調布局・世田谷局

放送番組審議会 議事録

平成 29 年度(2017 年度)株式会社ジェイコムイースト調布局・世田谷局 合同放送番組審議会は、
2018 年 2 月 26 日(月)調布クレストンホテルにて開催された。

【放送番組審議会委員】

池田 豊 様
吉良 雅彦 様
齊藤 亀三 様
杉田 剛 様
張堂 完俊 様
深沢 典充 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】進行：齊藤会長

■地形的な特徴を軸に番組を

委員

地域性といえば NHK の「ブラタモリ」という番組があるが、地形から地域の歴史を読み解いていて面白い。
河川と災害との絡みは根深いものがあり、知ることは意義がある。その土地の昔の姿を伝える番組があると
転居してきた方々にも興味を持ってもらえるだろう。

委員

調布では 2005 年に入間川が集中豪雨で氾濫、2014 年には雹と豪雨で下水があふれた。明らかに地
形が影響している。各自治体では防災マップを作成しているので、解説する番組があると良いのでは。

■地域の“昔話”を今に伝える

委員

「世田谷人図鑑」を楽しく拝見している。身近な方々が出演していて興味を持てる。今まで聞いたことのない
ような昔話も聞けるので面白い。商店街を散策する番組がなくなってしまったが、「人図鑑」が違った角度

から取り上げてくれているので嬉しく思う。

委員

昔と比べて地域の情報が豊富になってきたと感じる。昔話は面白いが、高齢の方も多いので時間には限りがある。「調布昔話」のような、地域の長老の方に歴史を語って頂く番組があると良い。街の姿は時間と共に移り変わり、いずれ忘れ去られてしまう。身近な人が、地名の由来や災害の話などを解説してくれると興味を持ちやすいのではないか。

■スポーツ番組について

委員

息子が中学生なので、知り合いの姿を探して「中学生東京駅伝」を見させて頂いたが、東京の各街にも地域性があると感じた。世田谷区の子供たちは塾通いが多く、イベントに割く時間が少ないそうだ。ある中学校のアンケートではテレビやスマホを利用する時間が全国平均より少ないという結果が出ている。一方、塾通いの弊害が体力テストの結果は中学を境に下がってしまう。是非スポーツに力を入れてほしい。

「ジャビットカップ」にも知っている子が出ているので応援させてもらった。

また、平昌五輪は地上波では取り上げない競技を放送していて興味深い。普段触れないスポーツを見ると発見がある。地上波で代わり映えない競技が続く中、独自の視点で素晴らしいと思う。

■アプリ「ど・ろーかる」について

委員

アプリ「ど・ローカル」のライブカメラの映像を番組として流してみてもどうか。

やはりスマホの画面では小さいので、災害時には行政の情報を取り入れた映像を放送してもらいたい。

集中豪雨の際の多摩川の様子などがテレビで見られると意義がある。

委員

「ど・ろーかる」はかなりのダウンロード数だと思うが、地域のセグメントができれば防災情報の発信に使える。

自然災害警報、停電や道路状況などをお伝えするのに利用していきたい。

事業者

Apple 社の公式アプリストア「App Store」にて、1/29(月)に「地域の情報を知ろう」という特集が行われた。「ど・ろーかる」は目玉アプリとして紹介され、全ての無料アプリの中で164位を記録している。

1月の大雪の際も「ど・ろーかる」でライブ配信を行ったが、非常に関心が高かった。都外からの通勤者が活用してくれたのだと思う。テレビだけでなく、スマートフォンを併用した発信ができた事例。

有事の際はプッシュ型で情報発信を行っていただけるような改良をしていきたい。

委員

取材に来るスタッフからもアプリ「ど・ろーかる」のお知らせを頂いている。市役所の中でも宣伝をしているが、自治体の職員にはエリア外に暮らす者も多いので「デイリーニュース」への接触機会が増えて良いと思う。自分たちが働いている街の魅力の再発見にもつながっている。

■編成について

委員

17 時から「デイリーニュース」を放送されているが、時間的に多忙な人が多いと感じる。再放送をされているが、せめて 18 時ぐらいに開始を遅らせることはできないのか。

事業者

ご指摘はごもっともだが、物理的な問題が多々あり調整させて頂いている。2018 年度に改修を行っていき、2019 年度には編成時間を見直していく予定。極力 見られるような時間帯に編成して運用していきたい。有事の際は通常編成から切り替えて緊急放送を行うという基本方針なので、安心安全情報の発信は担保できている。

委員

店舗や病院では待合室ではミュージックビデオのように映像をずっと流しているそうなので、テレビ東京系列「空から日本を見てみよう」のような空撮や風景のみのイメージビデオ的な番組に需要があると思う。リモコンの d ボタンを活用して災害情報や地域の情報に切り替わったりすると面白い。

委員

子供たちが一生懸命頑張って活躍している番組には勇気づけられるし、保護者も熱意がある。スポーツはもちろん、児童館で 1 年間研究を行い、発表までを見せる「世田谷ガリレオコンテスト」のような番組があると嬉しいと思う。

委員

2020 年の東京五輪に向けて英語の番組があると良い。

■アーカイブの重要性について

委員

J:COM の強みは地域の魅力や特色を撮り続けてきた豊富なデータ量だと思う。狛江市としても広報が活用させて頂いている。市制 50 周年を迎えるにあたり、映像によるプロモーションを考えているので引き続き大

小のイベント問わず取材をお願いしたい。かゆいところまでカバーして頂いて感謝している。

委員

高速道路や環状線の工事が続いているが、間近で見ることができないので興味がある。

工事の進捗や道路の延伸情報などを「デイリーニュース」で追ってもらいたい。

委員

東京五輪の会場に選ばれた馬事公苑やアメリカチームの練習場の近い砧公園が、どのように変わっていくのかを是非 見てみたい。小田急線の地下化により下北沢駅前も大きく変わる。開かずの踏切も姿を消しつつあるが、なくなると寂しく思うもの。住人のインタビューを交えて、街並みの移り変わりを追ってほしい。

事業者

かつての山や谷も時を経て地名に名前を残すのみとなっている。行政や広報と連動して地域のアーカイブを残していくことは J:COM の使命だと考えている。

以上